

## 人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらくづくり

### 【県立高校が取り組む教育の重点】

- |                 |                |                 |
|-----------------|----------------|-----------------|
| 1 挑戦する意欲を引き出す教育 | 2 学力の向上に向けた取組み | 3 地域を支える人材の育成   |
| 4 幅広い選択肢の確保     | 5 キャリア教育の充実    | 6 多様な生徒の学びの場の確保 |

### 【県立高校再編整備の基本方針】

#### ● 各学科の配置

##### (1) 普通科及び普通系の専門学科(理数、体育、音楽、国際)

- ◆ 8地区ごとに、大学等への進学を希望する生徒への指導体制を整えるために望ましい規模の学校を少なくとも1校配置します。
- ◆ 必要に応じて、普通科高校(普通系の専門学科との併設校を含む)の再編や「探究科」など新たな学科を設置します。

##### (2) 職業に関する専門学科(農業、工業、商業、水産、家庭(含福祉)、看護、情報)

- ◆ 地域産業や社会の情勢を踏まえ、生徒数の減少に伴う一律的な削減は行わず、全ての学科の学習の場を確保します。
- ◆ 1学年当たり4学級以上の単独校については、原則として単独校として維持します。
- ◆ 1学年当たり4学級を下回る単独校については、当面は単独校として維持しながら、更に小規模化が想定される場合には、他学科との再編を検討します。

##### (3) 総合学科

- ◆ 8地区ごとに、少なくとも1校配置できるよう検討します。
- ◆ 更なる設置については、生徒・保護者や地域社会のニーズを踏まえて検討します。

#### ● 特色ある学校の配置

##### (1) 総合選択制

- ◆ 学校や地域の実情に配慮し、高校教育における質の確保・向上と学校活力の保持の観点から、小規模化する専門高校等を再編し、学科の枠を越えた学習ができる総合選択制高校の設置を検討します。

##### (2) 中高一貫教育

- ◆ 庄内地区については、東桜学館中学校・高等学校の取組みや、全国の併設型中高一貫教育校の成果を踏まえ、地域の意見を聞きながら設置を検討します。

##### (3) 普通科単位制(全日制)

- ◆ 学校独自の科目を含む充実した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望や学習要求にきめ細かく対応する全日制的普通科単位制高校を、8地区ごとに、少なくとも1校配置します。

##### (4) 定時制・通信制

- ◆ 夜間定時制については、状況が整った地区から昼間定時制への移行を検討します。
- ◆ 多様な生徒が、それぞれの実情に応じて学習の時間帯や形態を選択することができる新しいタイプの高校を、庄内地区に設置することについて検討します。

#### ● 学校の統廃合等に関する基本方針

- (1) 再編整備による新しい学校づくりなどを通して、高校として望ましい学校規模(1学年当たり4~8学級)を確保し、教育の質的な向上と学校の活力の保持を図ることを基本とします。なお、1学年当たり4学級を下回る学校については、キャンパス制の導入や地域との連携等により、教育環境の改善に努めます。
- (2) 1学年当たり2学級の学校については、入学者数が2年連続して入学定員の3分の2に満たない場合は、その翌年度から入学定員を1学級分に減じ、更にその2年後に分校とします。ただし、この基準の適用に当たっては、学科等の特殊性や交通事情等の地域の実情に十分に配慮します。
- (3) 1学年当たり1学級の学校<sup>※</sup>については、入学者数が2年連続して入学定員の2分の1に満たない場合は、交通事情等の地域の実情に配慮しながら、原則としてその2年後に募集停止とします。 ※この場合、分校も1つの学校と見なします。

#### ● 年次計画について

- (1) 平成36年度までの年次計画案について、1年程度の周知・意見聴取期間を経て、平成32年3月の県教育委員会で決定する予定です。  
ただし、最上地区については、平成32年3月に学級減を含む再編整備計画案を公表し、平成33年3月の県教育委員会で決定する予定です。
- (2) 上記「学校の統廃合等に関する基本方針」等により、学級減対象校が追加となる場合があります。

【平成 27 年度～36 年度の年次計画と各地区の再編整備】(○:1 学級減 ☆:学科改編等 ☒:募集停止 ■:統合 ◆:分校化) ※人数は中学校卒業業者数及び今後の見込数、○内の数は学級数

学区	26 年度 学級数 中学校卒業業者数	27 年度 (2015)	28 年度 (2016)	29 年度 (2017)	30 年度 (2018)	31 年度 (2019)	32 年度 (2020)	33 年度 (2021)	34 年度 (2022)	35 年度 (2023)	36 年度 (2024)	36 年度 学級数 対 26 年度生徒数
東	75 学級 ・東南村山 61 ・西村山 14 4,369 人	キャンパス制 寒河江十谷地 寒工+左沢 4,309 人	○山形中央(普) 4,184 人	○山形西(普) 4,219 人	☆山形東 (探2・普④) ☆寒河江 (探コ①・一般コ④) 4,239 人	○山形南(普) ○上山明新館 (普) ○谷地(普) 3,913 人	○左沢(総) 3,882 人	東南村山地区検討委員会	○山形工業(工) 3,891 人	○天童(総) 3,853 人	○山形北(普) 3,791 人	66 学級程度 ・東南村山 54 ・西村山 12 ▲578 人
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">東南村山地区の再編整備</div>											
北	31 学級 ・北村山 14 ・最上 17 1,624 人	◆新庄神室産業 真室川校 キャンパス制 新北+最上 新南+金山 神室+真室川 1,705 人	楯岡(普) 東桜学館 中・高 1,674 人	○新庄南(普) 1,714 人	○北村山(総) ☆新庄北 (探コ①・一般コ④) 1,618 人	1,612 人	1,621 人	1,451 人	1,474 人	1,446 人	1,328 人	25 学級程度 ・北村山 13 ・最上 12 ▲296 人
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">計画案※の周知・検討</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">最上地区の再編整備 ※ 計画案(学級減含む)は31年度に公表予定</div>											
南	42 学級 ・東南置賜 30 ・西置賜 12 2,073 人	キャンパス制 長工+荒砥 2,046 人	○米沢工業(工) 2,140 人	○新庄南(普) 2,042 人	○南陽(普) ☆米沢興譲館 (探2・普③) ☆長井 (探コ①・一般コ④) 1,918 人	○小国(普) 1,864 人	○荒砥(総) 1,824 人	A 案 B 案 1,703 人	○米沢東(普) ○米沢商業(商) 1,754 人	○米沢商業(商) ○高畠(総) 1,746 人	○高畠(総) ○置賜農業(農) 1,762 人	35 学級程度 ・東南置賜 25 ・西置賜 10 ▲311 人
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">計画案※の周知・検討</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">東南置賜地区の再編整備 ※ A 案: 米沢東・米沢商業の統合、B 案: 米沢工業・米沢商業の統合</div>											
西	55 学級 ・田川 32 ・飽海 23 2,784 人	○鶴岡工業(工) ○酒田光陵(商) ☆遊佐(普→総) キャンパス制 鶴南+山添 2,624 人	○酒田光陵(普) 2,618 人	○庄内農業(農) 2,635 人	○鶴岡北(普) ○酒田西(全普) ☆酒田東 (探2・普③) ☆酒西(定)→昼間定 2,494 人	○鶴岡中央(総) ○酒田光陵(工) 2,409 人	☒鶴岡南山添校 (普) 2,298 人	☒鶴岡工業(定) ■鶴岡南(通) ○庄内総合(総) 全日、昼間定、 通信制併設校 2,245 人	○加茂水産(水) 2,182 人	○鶴岡南(普) ○酒田西(全普) 2,142 人	42 学級程度 ・田川 24 ・飽海 18 ▲642 人	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">計画案※の周知・検討</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">田川地区の再編整備 ※ 鶴岡南・鶴岡北の統合と中高一貫教育校の設置、 鶴岡中央・加茂水産・庄内農業の統合と校舎制の導入</div>											
計	203 学級 10,850 人	2 学級減 10,684 人	3 学級減 10,616 人	3 学級減 10,610 人	4 学級減 10,269 人	6 学級減 9,798 人	3 学級減 9,625 人	なし 9,136 人	14 学級程度減 9,364 人		9,227 人	168 学級程度 ▲1,827 人